

定格			
理論押しのけ容積	15.8	cm ³ /rev.	
最高使用圧力	21	MPa	
定格圧力	16	MPa	
回転速度範囲	600~1800	r/min	

使用油
石油系作動油
推奨粘度グレード ISO VG 32, 46

粘度範囲 20~400 mm²/sec
油温範囲 0~60℃
ただし、上記 粘度範囲ご注意ください。

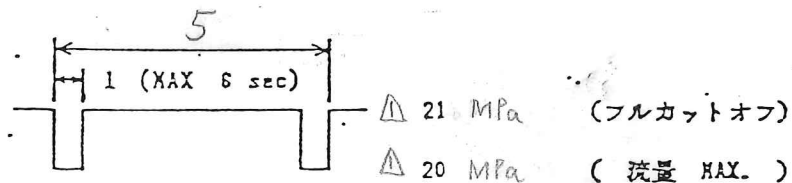
吐出し流量調整範囲 (QH > QL) 圧力調整範囲 (PH > PL)

QL : 2.6 ~ 11.1 cm³/rev
QH : 2.6 ~ 15.8 cm³/rev

PL } 2.5 ~ 21 MPa
PH }

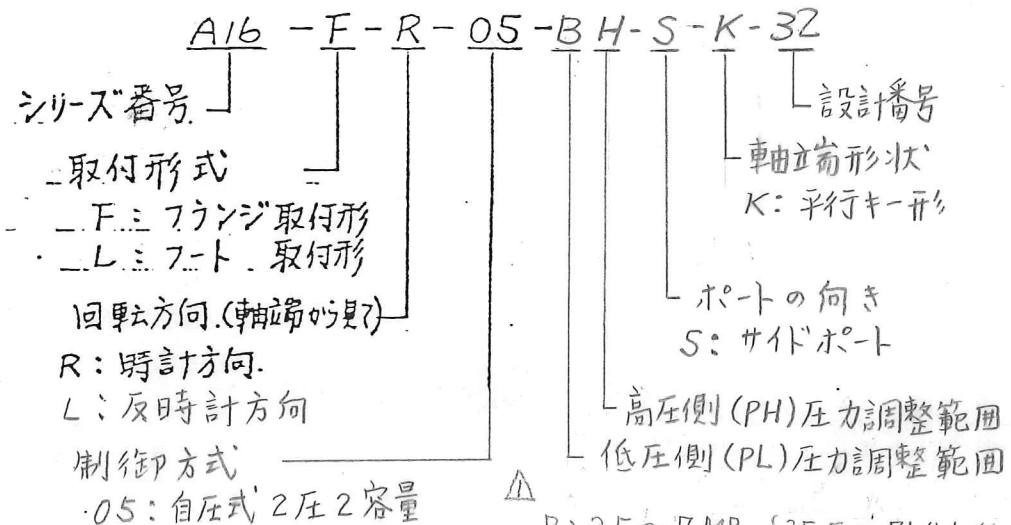
使用上の注意

1. ポンプは注油口の位置が上になるように据付けてください。
接続の際はフレキシブルカップリングを使用し、軸には曲げ荷重およびスラスト荷重がかからないようにしてください。(直接歯車やベルトで駆動しないでください。) なお、駆動軸とのズレが TIR. 0.1mm、角度誤差 0.2° を越えないようにしてください。
 2. 吸込み圧力はポンプ入口にて -16.7kPa ~ +50kPa にしてください。
 3. 鋼管配管の場合、配管によりポンプに無理な力がかからないように注意してください。
 4. ドレン配管は下記を目安にして、他の戻りラインと合流せずに単独で行ない、端末を必ず油中に入れてください。
配管継手サイズ R 3/8 (内径φ8.5以上)
配管内径 10以上
配管長さ 1m以下
- 上記条件を満足しない場合でもハウジング内圧力が定常状態圧力 0.1MPa 以下、かつサージ圧力 0.5MPa 以下になるようにしてください。
5. 作動油の汚染管理には十分注意を払い、汚染度は NAS10 級以内にしてください。なお、吸込みラインには 100ミクロン (150メッシュ) のフィルタを、吐出しラインまたは戻りラインには 10ミクロン以下のフィルタをご使用ください。
 6. ポンプ初期運転前には必ず注油口から油圧油をハウジング内に充填してください。なお、運転開始時には吐出しラインを無負荷にしてポンプを始動し、正常に油を吸込むことを確認してください。
 7. 初期あるいは長時間運転休止後に運転する場合には、油を吸込みにくいことがありますので、あらかじめ吐出し側の空気抜き弁 (モデル番号: ST1004-5-10) を設けておくか、または吐出し側の接続をやや緩めて空気抜きを行なってください。
 8. ポンプ内部および管路内に空気が混入していると振動発生の原因になりますので、空気抜きは完全に行なってください。
 9. 最高圧力はフルカットオフ圧力を示します。定格圧力を越えてご使用の場合は使用条件に制限があります。下図のような条件でご使用の際は最大吐出し運転時間が運転サイクルの 1/5 以内、かつ 6秒以内になるようにしてください。なお、この条件は使用圧力、吐出し量 (斜板傾き角) 等により異なりますので詳しくは別途お問合せください。



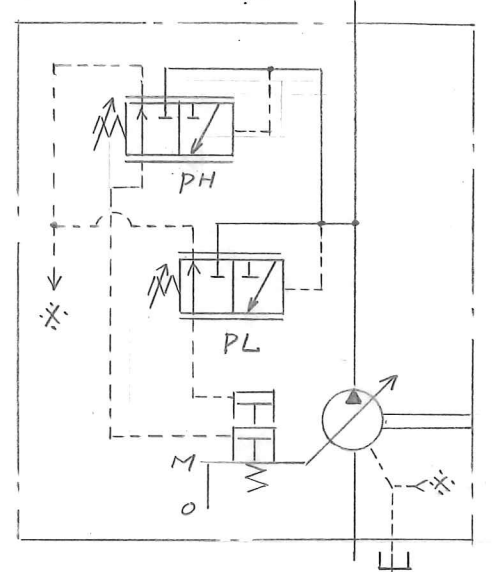
10. ポンプを油面より上部に設置する場合は吸込みラインの空気取りを防止するため、吸込み配管およびサクシオンラインフィルタはポンプのポートより高くしないであらう。
なお、吸込み側の配管は適合する管フランジの口径そのものを使用し、吸込みポートの高さは油面から 1m 以内にして下さい。

モデル番号の構成



B: 2.5 ~ 7 MPa {25.5 ~ 71.4 kgf/cm²}
C: 2.5 ~ 16 MPa {25.5 ~ 163 kgf/cm²}
H: 2.5 ~ 21 MPa {25.5 ~ 214 kgf/cm²}
(注) {kgf/cm²} は参考値

油圧図記号



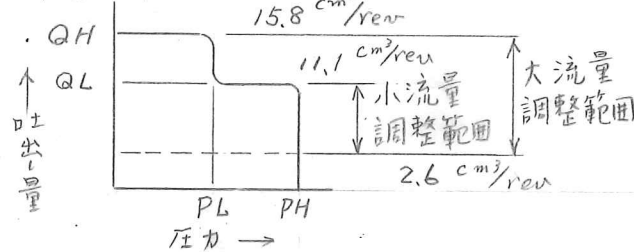
吐出し量の設定方法

出荷時吐出し量 QH, QL は最大に設定してあります。(図-1 参照)

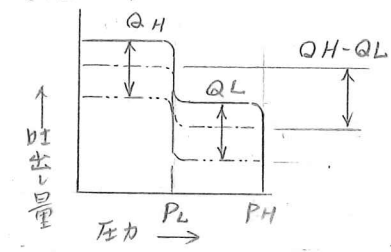
所要吐出し量の設定は下記手順で行なって下さい。

1. 小容量調整ねじを回し、QL を所要の値に設定します。なお、このとき QH も QL との流量差 (QH-QL) を一定に保って変化します。(図-2 参照)
注) QL は圧力が 2.5 MPa 以上でなければ調整できません。
2. 大容量調整ねじを回し QH を所要の値に設定します。なお、このとき QL は変化せず、上記 1 項で設定した値が保たれます。(図-3 参照)
なお、吐出し量調整ねじ 1 回転当りの吐出量の変化量は下記の通りです。
大容量調整ねじ --- 1.19 cm³/rev, 小容量調整ねじ --- 1.43 cm³/rev

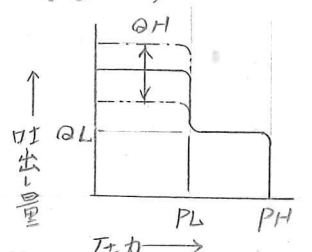
(図-1)



(図-2)



(図-3)



小容量が 2.6 ~ 11.1 cm³/rev の範囲を越えてご使用になられる場合は別途ご相談ください。

夕キー形は軸入力力が下記に制限されます。

6P 電動機 2.2 kW
4P 電動機 3.7 kW

片野 P99-060 7/5	日付 DATE	製図 DRAWN	YUKEN KOGYO CO., LTD.
	承認 APPROVED	検図 CHECKD	
SYM	三角法 THIRD ANGLE PROJECTION		名称 NAME
	FILE NO. 1303F	図番 DWG NO. PA.312593-7-1 (7/2)	